

浪速区運営方針の改定履歴

太字は改正

改定年月	変更項目	変更前	変更後	備考
R3.6 改定	具体的取組【4-1-1】 前年度までの実績	区内小学校5年生アンケート調査で、授業以外の勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」と回答する児童(小学校5年生)の割合 ・令和元年度: 21.3%	区内小学校5年生アンケート調査で、授業以外の勉強時間について、「まったくしない」「30分より少ない」と回答する児童(小学校5年生)の割合 ・令和元年度: 21.3% ・ 令和2年度: 31.0%	令和2年度プロセス指標の確定による
R3.6 改定	具体的取組【4-1-1】 当年度の取組内容	・小学校(6校)、5~3月、指導員各2~3名、各平均135日程度	・小学校(6校)、5~3月、指導員各2~3名、各平均135日程度 ・参加者の増へ繋げるため、学校・事業者・区役所の連携を強化する。	令和2年度運営方針振り返りにより変更
R3.9 改定	【様式2】 経営課題3 現状	・令和2年4月での待機児童数は3人であり、今後、就学前児童数に占める保育所申込数は増加することが見込まれる。 (大阪市こども・子育て支援計画(第2期)保育認定児童数/就学前児童数) 平成31年4月(実績) 42.1% ⇒ 令和3年4月 44.6%	・全国的には少子化の傾向にあるものの、浪速区においては、人口の増加に伴って、就学前児童数の増加が見込まれる。 ・令和3年4月での待機児童数は0人であったが、今後、就学前児童数に占める保育所申込数は増加することが見込まれる。 (保育認定児童数/就学前児童数) 令和2年4月 42.1% ⇒ 令和3年4月 44.6% ⇒ 令和4年4月 45.6% ・就学前児童推計人口のグラフの追加	実績値の更新による改定

改定年月	変更項目	変更前	変更後	備考
R3.9 改定	【様式2】 経営課題3 現状	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の児童虐待相談件数は37件。そのうち、ネグレクト事案が62%を占める。年齢別では就学前児童が54%を占める。 令和元年度虐待相談種別グラフ 	<ul style="list-style-type: none"> 浪速区で受理した児童虐待相談件数 令和元年度 37件 令和2年度 54件 虐待の種別では、これまでネグレクト事案が多い傾向にあったが、令和2年度は身体的虐待が半数以上を占めている。 令和2年度虐待相談種別グラフ 	同上
R3.9 改定	【様式2】 具体的取組【3-1-1】 当年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 区内保育施設と連携し、子育て支援施設合同説明会を開催（1回） 	項目削除	新型コロナウイルス感染症の影響により「子育て支援施設合同説明会」を開催を中止したため
R3.9 改定	【様式2】 具体的取組【3-1-1】 プロセス指標	子育て支援施設合同説明会利用者アンケートで「大変役に立つ」と回答した人の割合：60%以上	利用者支援専門員による相談時に実施する利用者アンケートで「相談が大変役に立つ」と回答した割合 93%以上	同上
R3.9 改定	【様式2】 具体的取組【3-1-1】 撤退・再構築基準	上記指標が40%未満の場合は、事業を再構築する。	上記指標が80%未満の場合は、事業を再構築する。	同上
R3.9 改定	【様式2】 具体的取組【3-1-1】 前年度までの実績	子育て支援施設合同説明会（令和元年8月28日実施）で「大変役に立つ」と回答した人の割合 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度：52.1% 令和2年度：新型コロナウイルス感染症の影響により、合同説明会中止 	利用者支援専門員による相談時に実施する利用者アンケートで「相談が大変役に立つ」と回答した割合 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度 91% 令和2年度 92% 	同上

改定年月	変更項目	変更前	変更後	備考
R3.9 改定	【様式3】 取組項目1 「取組の方針・目標内容」	(目標) ・(目標収納率は令和2年度の進捗状況をふまえて設定) 【令和2年度】目標収納率: 81.06%	(目標)収納率を前年度より向上 (実績 令和元年度:81.06% 令和2年度: 82.06%)	実績値の更新による改定
R3.9 改定	【様式3】 取組項目1 「当年度の取組内容」	(目標) ・(目標収納率は令和2年度の進捗状況を踏まえて設定) 【実績 平成30年度: 81.09%、令和元年度: 81.06%】	(目標) 【令和3年度】目標収納率 82.06%以上	同上

※ その他、誤字の修正等を行った。